

霜月

2025 年 11 月 29 日

野中健司



今日は古河地区の産業祭「

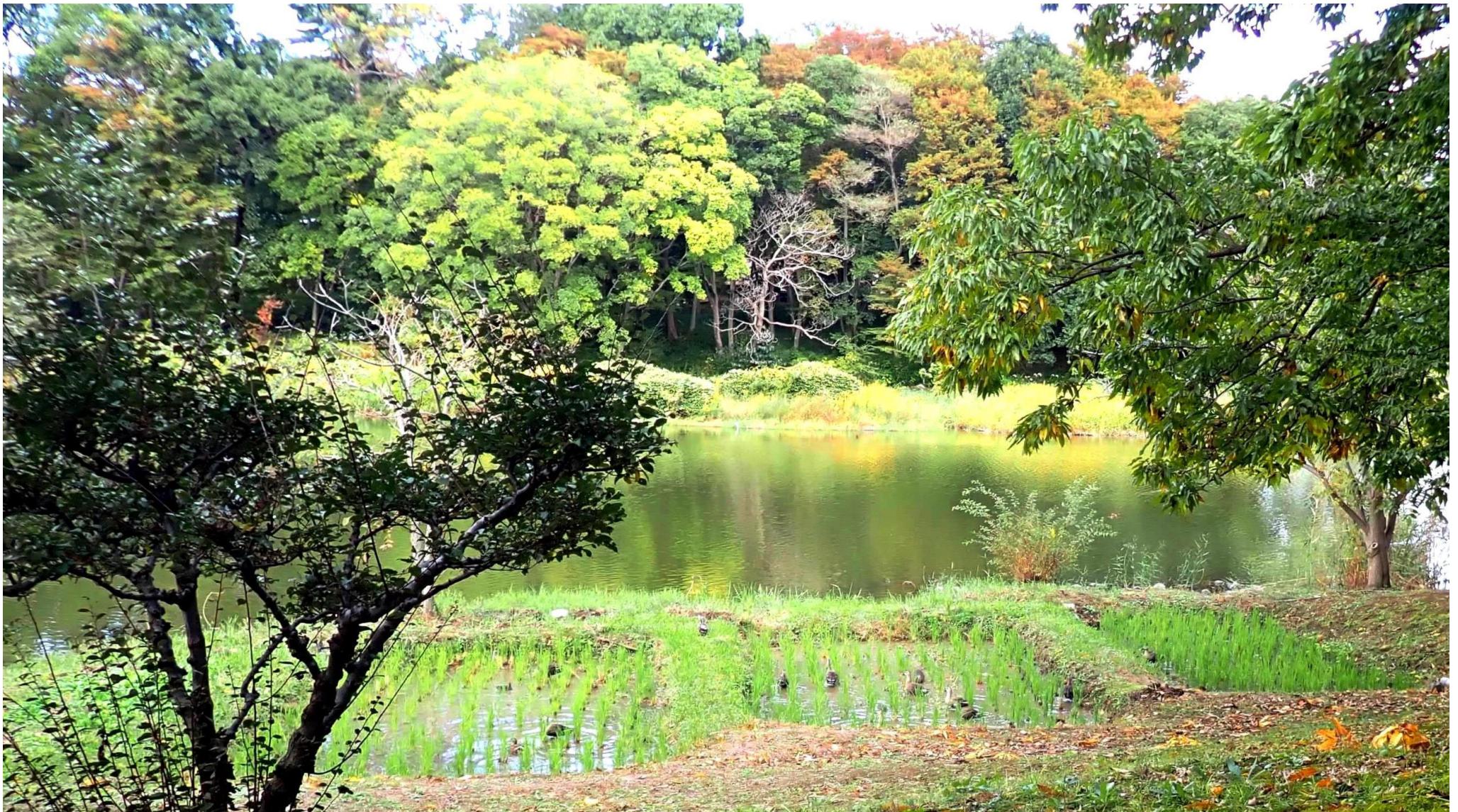
2025年11月1日12時30分ごろ、「まくらが浜」の前では大道芸で客を楽しませていた。



公園入口から屋台やキッチンカーが切れ目なく並び、トラックの仮設舞台が設置されていた。



2025年11月1日12時30分ごろ、芝生広場のメイン会場の風景



2025年11月1日14時30分ごろ祭りの喧騒を逃れて、新久田道を散策する。

「ホツツケ田」の刈り取られた水田で、多くの鴨が水草を食んでいた。



2025年11月1日15時30分ごろ「春草席」から

御所沼の上空には多くのカラスが騒がしく鳴き、乱舞していた。何事か？



2025年11月9日16時ごろ 小雨降る御所沼



2025年11月9日14時30分ごろ

小雨降る「仙人池」



2025年11月9日14時30分ごろ 春草席側から小雨降る御所沼を眺める

草は枯れ、モミジなどの木々は色づき始めていた。、



2025年11月9日13時ごろ「牧野地道」から芝生広場を眺める。欅の落葉が秋の景色をつくっていた。



2025年11月9日13時ごろ「中山台」の遊具広場

落葉樹の木々の落葉が一面に地面を覆う。落葉の中をサクサクと歩く、懐かしい記憶が蘇った。



2025年11月19日14時30分ごろ 「河童沼」の傍のナンキンハゼ、見事な紅葉を愛でる。



2025年11月19日14時30分ごろ

「新久田道」はすっかり秋景色である。



2025年11月19日15時ごろ 「ガラパゴス島」のイロハモミジ、まっ赤な紅葉が印象に残った

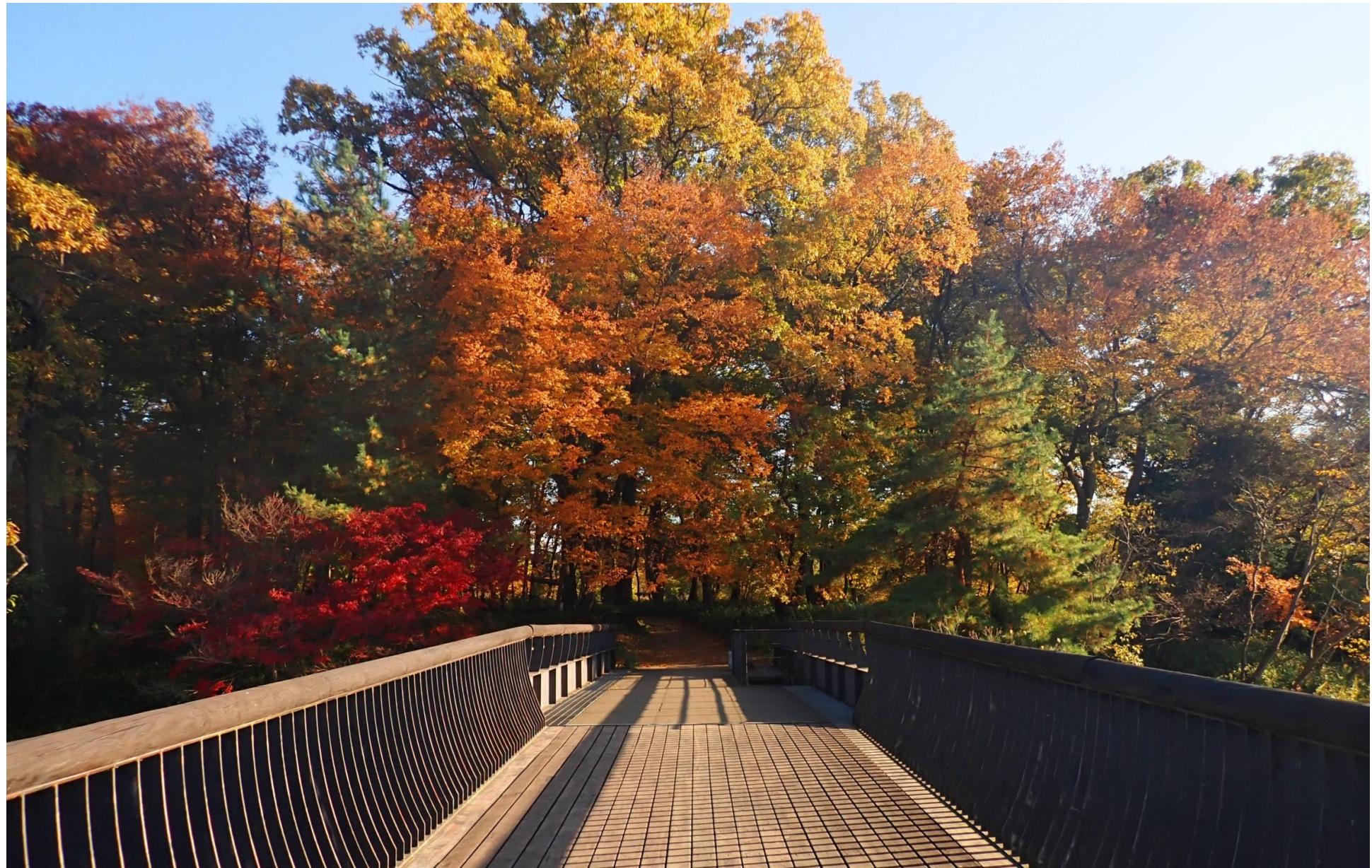


2025年11月19日15時ごろ

「新久田道」木々の黄葉が美しい。



2025年11月19日15時ごろ 「相の谷橋」から「御所の森」を眺める。



2025年11月19日15時ごろ 「天神橋」から御所の森を眺める。



2025年11月19日15時ごろ 「天神橋」から管理棟方面を眺める。

11月と言えば、ノベンバー

連想ゲームではないが

武満徹のノベンバーステップス(11月の階段)という作品がある

1967年・小澤征爾指揮・ニューヨーク・フィル初演、琵琶と尺八とオーケストラとの競演、

「里山の景色の中に流れるクラシック」が発想とか、

ならば

11月の里山をイメージして聴くのがベストか

古河公方公園は

古河の悠久の歴史を紡いだ地相空間を生かして造られた里山の自然がメインテーマである

鳥の鳴き声、森のざわめき、せせらぎの流れ、微かに聞こえる人語

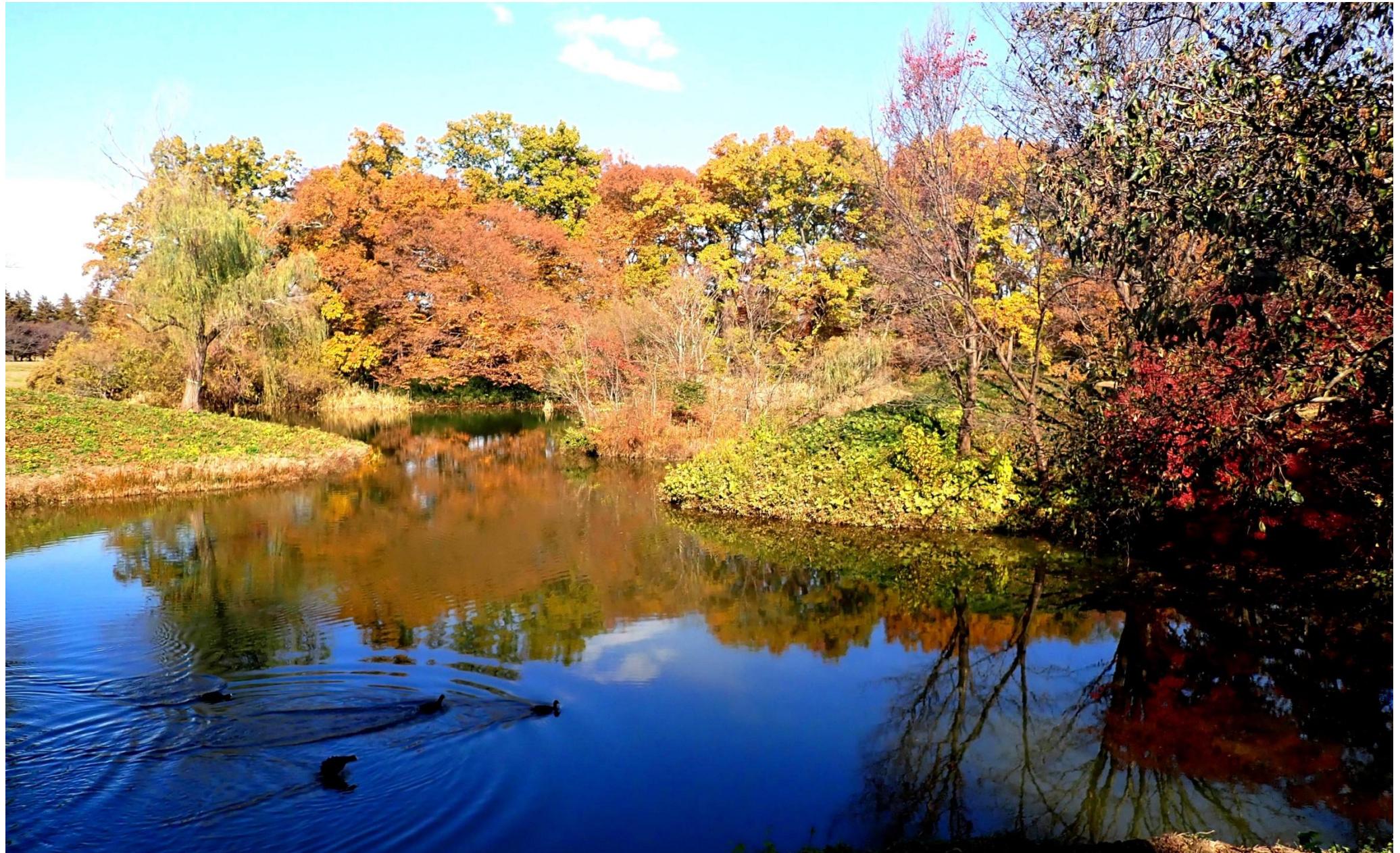
1/F ゆらぎ

御所沼に吹く風のように流れる管弦楽

我が勝手な妄想



11月26日12時30分ごろ 明るくなった「御所の森」の黄葉



11月26日12時30分ごろ 新久田道から「川瀬の入江」を眺める。



11月29日13時ごろ 濡性植物園を季節風から守る修景林のモミジの紅葉